

# 8月のほけんだより

令和5年8月1日  
大津市立大平保育園

夏真っ盛り！子ども達はプールや水遊びなど夏ならではの遊びを存分に楽しんでいます。ですが、子どもはペース配分など考えずにいつでも全力で遊ぶので…

先月は高熱や腹痛などで休みされる子どもがいました。新型コロナウイルスと診断されたケースもあります。また、夏の疲れが出てくる時期にもなってくるので…



## 身体計測

爪も切って  
くださいね

あおグループ	2日(水)
あかグループ	3日(木)
とんぼ組	7日(月)
みつばち組	4日(金)
てんとうむし組	} 8日(火)
ちょうちょ組	



しっかり休養、栄養、水分も取るように気をつけましょう！

## おちんちん・おまたは恥ずかしいもの？

水遊びやシャワーなどで裸になることが多いこの季節。子どもが、おちんちんやおまたを触っていてどうしよう！？と思ったことはないですか？「恥ずかしいからやめなさい！」「そんなとこ触らんととき！」などつい言っていないですか？

子どもが『おちんちん』なども含めてからだに興味を持つことは発達上とても大切なことです。性器は触れているとほっとできるようにデザインされているので、退屈な時、イヤなことがあった時などに触っているのは自然な姿なのです。とは言え性器いじりをやめてほしい時もありますよね。そんな時でも、「恥ずかしい」「いやらしい」と言ったネガティブな伝え方は控えたいものです。「大切ところだからパンツをはいて守っておこうね。」「ばい菌が入ったらいけないから、きれいにしとこうね。」など、子どもたちが、自分のからだ（おちんちんやおまたも含めて！）を大切なものなんだと実感できるように言い換えてみませんか？ そうしていくことで、自分の事も相手の事も大切にできる子どもになってほしいと願っています。

## とびひが増える季節です

とびひ（伝染性膿痂疹）は夏に多く見られます。虫に刺された跡を汚れた手でかくなどとすると細菌（ブドウ球菌など）が感染し、そこで繁殖します。初期に水ぼうがができますが、すぐに破れてじゅくじゅくした状態になります。その部分を触った手で別の場所を触ると、そこにもとびひが広がります。



### 主な症状

- 皮膚に小指のつめくらいの水ぼうがができる
- 水ぶくれや、赤くじゅくじゅくした、ただれた状態になる
- 強いかゆみがある

## 家庭での手当て

- じゅくじゅくしている部分はガーゼで覆ってください。
- おふろはシャワー程度にして、タオルも個別にしましょう。タオルを共有して感染することがあるからです。
- 完全に乾燥するまで感染力がありますから、乾燥するまではガーゼで覆い、プールは禁止になります。



感染力が強いので、医療機関を受診し、薬をもらってください

